

よろずは

平成二四年

九月号

今号から始まる「歌碑めぐり」シリーズでは、全国のユニークな万葉歌碑や明日香村に点在する歌碑などをご紹介していきます。

歌碑めぐり 1

第一回目は、埼玉県にある前玉神社の万葉歌碑です。前玉神社は、さきたま古墳公園のすぐそばに鎮座しており、小高い丘のうえに本殿があります。この丘も実は浅間塚古墳という古墳なので驚きです。墳頂へ上がる階段の両脇に、二基一対の石燈籠があります。これこそが日本最古といわれる万葉歌碑なのです。

向かって右側の石燈籠には『万葉集』巻十四・三三八〇番歌が、左側の石燈籠には巻九・一七四四番歌がそれぞれの竿石に刻まれています。いずれも「埼玉の」から始まる万葉歌であることからわかるように、前玉神社が鎮座する地域に関わる歌が選ばれています。

さらに石燈籠の竿部分には、元禄十年（一六九七）十月十五日にこれを奉納したことが記されています。おそらく、埼玉村に住む氏子のなかに博学な人がいて、埼玉を詠んだ万葉歌を燈籠に刻むことを思いついたのでしょう。【万葉古代学係】



前玉神社の万葉歌碑
(埼玉県行田市埼玉 5450)



タイトルの「よろずは」は、「万葉」を訓読みしたものです。